



# みなと

横浜市立港中学校 学校だより  
令和3年度 第8号  
令和4年3月22日発行

～自分を大切にし、人を大切にし、地球を大切にする～

## 第74回卒業証書授与式

副校長 柳原 聖



3月9日 9時30分から港中学校  
体育館で第74回卒業証書授与式が行  
われました。新型コロナウイルスの感染  
拡大防止のため来賓、在校生全員の参列  
はかならず、卒業生、保護者、教職員、  
代表在校生で卒業生の旅立ちを見送  
りました。

卒業証書授与式に臨んだ卒業生は  
誰もが緊張した面持ちであるものの

堂々とステージの上で校長から卒業証書を受け取っていた姿が印象的でした。

校長は式の中で、「卒業生の皆さんにはこれから楽しいこともたくさんあるでしょう。

同様に困難なこと苦しいこともあるでしょう。困難なこと苦しいことを自分を成長させる  
機会と考えると、それに立ち向かって成長してほしい。」と卒業生に向けて話をしました。

また、卒業生答辞では代表生徒が「コロナで生活が一変した。このことで普通の生活の  
ありがたさに改めて気づいた。」と話したことが印象に残っています。

卒業生は授与式閉式後、体育館を退場する前に式に参加した保護者の前に一列に並ん  
で、今まで育ててくれた感謝の言葉やこれからの決意の言葉を学級ごとに大きな声で伝え  
て退場していきました。

新型コロナウイルスによって臨時休業、分散登校、マスクの着用、消毒などが当たり  
前になり、学校生活が大きく制限されるようになりました。

そんな中でも、友だちと支えあい逞しく3年間の中学校生活を送った第74期106名の  
卒業生が港中学校を巣立っていきました。

卒業生が、これから幸せな生活を送っていくことを願っています。

# 努力は裏切らない ～練習は結果に現れます～

3月6日、2年ぶりに一般ランナーも走ることができた東京マラソン 2021 に参加しました。当日は天気も良く暖かな日差しが降り注ぐなかでの開催でした。

東京マラソンは、開催地の東京都にまん延防止等重点措置が適用されていたので実際に開催されるか心配していました。

現に、まん延防止等重点措置の適用により国内で開催されるいくつかのマラソンが中止になっていました。そのため、きっと東京マラソンも直前になって中止または延期の連絡が入ると思っていました。こんな背景があり、例年になくこのマラソンに向けての練習量は少ないものでした。

日常の10kmを走るだけで、例年だったらマラソン本番前に20km以上を数回走って当日を迎えていたので…

都知事の合図でマラソンがスタートしました。スタート直後は順調に走れていましたが、練習量の少なさは見事に本番に現れました。30kmまでは目標のラップタイム刻むことができたのですが、30kmを過ぎたところから足が止まり目標のタイムから15秒遅れました。目標タイムに遅れるだけでなく、40kmを前に右足がすり歩いてしまいました。40kmを過ぎてから痛みに耐えさらにペースを落としどうにか東京駅のゴールにたどり着くことができました。

コロナのことを言い訳にして練習量が少なかったことが結果に現れました。

2年ぶりのマラソンを完走できたことはうれしいことで完走できたときの達成感と言ったら言葉にできないくらいに大きなものがあるのですが、あの時もっと練習しておけばよかったと完走を素直に喜べないものがありました。

事前にもっと本気で練習した自覚をもって本番に臨んでいれば、同じタイムの完走でもきっと心の底から喜ぶことができたでしょう。

後から悔やむことが無いよう事前にできる限りの準備をして物事に取り組むことの大切さに改めて気づかされた一日でした。

何事にも本気で準備して取り組むとどんな結果にも満足することができるでしょう。準備は結果に現れますね。



東京マラソンのゴールです。小さくですが後方にはレンガ造りの東京駅が見えます。